

やまぐち農林水産業活力創出行動計画

(計画期間：平成 26 年度～29 年度)



平成 27 年 (2015 年) 3 月

山口県農林水産部

目 次

はじめに

1 策定の趣旨、名称、計画期間	2
2 構成	3～4

目標及び取組内容

I 県産農林水産物の需要拡大	
1 「ぶちうま売込隊」によるPR対策の充実強化	5
2 地産・地消の取組強化	5～6
3 「やまぐちブランド」の育成	6
4 大都市圏や海外への販路確保	7
5 6次産業化・農商工連携の一体的な取組強化	7
II 新たな人材や中核経営体の確保・育成	
1 新規就業者の確保・定着	8～9
2 法人経営体の育成	9
3 農山漁村女性リーダー・女性企業の育成	10
III 需要拡大に対応した生産体制の強化	
1 集落営農法人等を核とした農業生産構造の改革	11
2 林業の成長産業化に向けた取組強化	11～12
3 海洋調査体制の強化による漁業生産の拡大	12
4 安心・安全な農水産物の供給	12～13
5 全国に誇れるブランド品目の生産拡大	13～14
6 需要のある品目の生産強化	14～16
7 防疫体制の強化	16
8 研究開発の強化	16～17
IV 生産基盤の整備と資源の保全・有効活用	
1 生産基盤の整備	18～19
2 卸売市場の機能強化と水産業振興拠点の整備	19
3 森林バイオマス等再生可能エネルギーの活用	20
4 鳥獣被害防止対策の強化	20～21
5 やまぐち森林づくり県民税の活用	21
6 多面的機能の維持・発揮	22
7 防災・減災機能の強化	23

用語解説	24～39
------	-------

はじめに

1 策定の趣旨

農林水産業は、食料をはじめ農林水産物を県民に安定供給するという基本的役割に加え、県土や自然環境の保全などの多面的な機能を有する重要な産業ですが、一方で、担い手の大幅な減少や全国に比べ進行している高齢化、生産物価格の低迷や産地間競争の激化、貿易自由化の動き、更には海水温上昇をはじめとした気象変動など多くの課題に直面しており、農林水産業を元気にし、地域を活性化するためには、これらの課題に的確に対応していく必要があります。

こうした中、本県では、「活力みなぎる山口県」の実現に向け、平成 26 年度から 29 年度の 4 年間の計画期間とする新たな県政運営の指針「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」を平成 27 年 3 月に策定し、農林水産業分野においては、県産農林水産物の売込み強化や 6 次産業化・農商工連携などによる販路拡大、担い手支援日本一の実現、生産体制の強化、生産基盤整備、資源の有効活用などを積極的に推進することとしました。

この「チャレンジプラン」の策定にあわせ、「やまぐち産業戦略推進計画」とも整合を図るとともに、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等も踏まえ、平成 25 年 10 月に策定した「やまぐち農林水産業再生・強化行動計画」を改定し、農林水産業の活力創出に向けて取り組む施策や目標を明らかにする新たな行動計画を策定しました。

2 名称

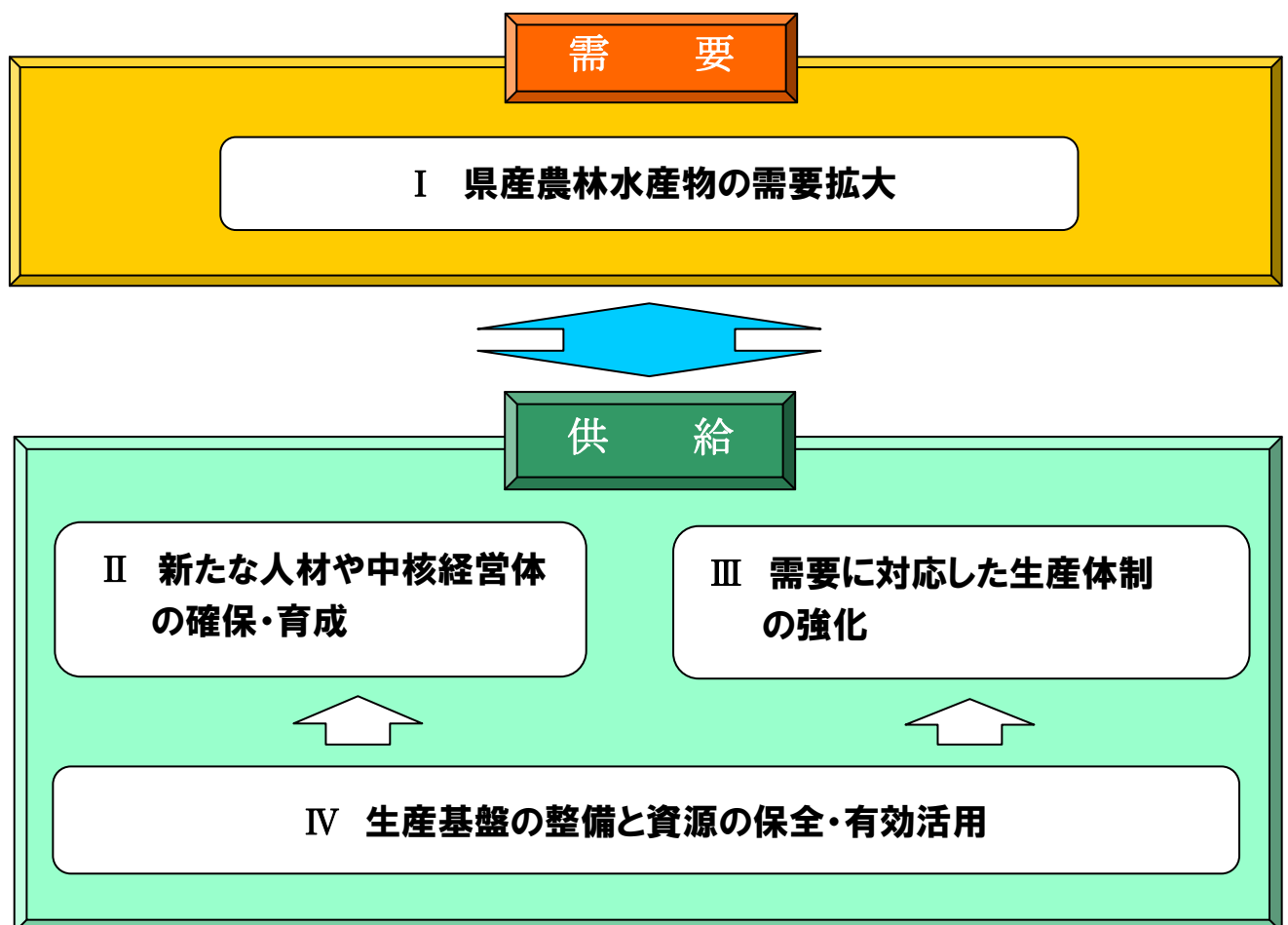
やまぐち農林水産業活力創出行動計画

3 計画期間

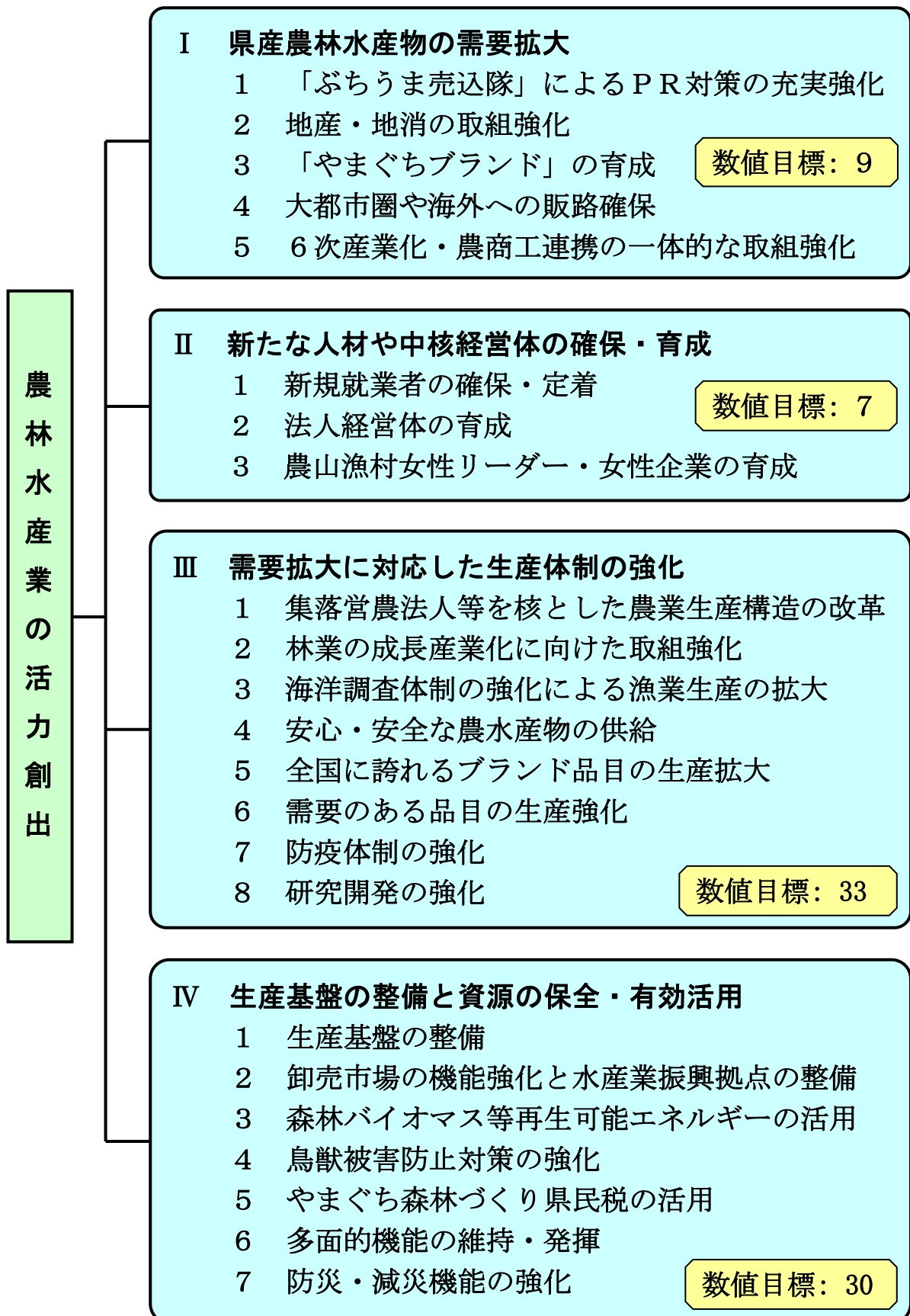
平成 26 年度（2014 年度）から平成 29 年度（2017 年度）の 4 年間

4 構成等

農林水産業の活力創出に向けては、本県農林水産物の需要を拡大した上で、それに対応できる供給体制づくり（新たな人材や中核経営体の確保・育成、需要拡大に対応した生産体制の強化、生産基盤の整備と資源の保全・有効活用）を進めていくという考え方のもと、次の4つの柱と23の重点項目で構成し、その実現に向け、79の数値目標を掲げています。



【4つの柱、23の重点項目、79の数値目標】



I 県産農林水産物の需要拡大

国内外における産地間競争が激化する中、県産農林水産物の需要をしっかりと確保・拡大していくことがこれまで以上に重要となっています。

このため、地産・地消の着実な推進に加え、「ぶちうま売込隊」による国内外に向けたPR対策の充実強化や、味や品質に優れ全国に誇れる「やまぐちブランド」の育成に努めるとともに、6次産業化・農商工連携による地域資源を活かした新商品開発に取り組むなど、本県の素晴らしい農林水産物や加工品の需要拡大を積極的に進めます。

1 「ぶちうま売込隊」によるPR対策の充実強化

【取組内容】

- 知事を隊長とする「ぶちうま売込隊」によるトップセールスの実施
- 首都圏や関西圏におけるテレビ、新聞等のメディアを活用した戦略的情報発信
- 国内外におけるフェアでのPRや食材提案会等の実施



山口の食と日本酒フェア in 台湾



瀬戸内フェア



瀬戸内フェア(試食)

2 地産・地消の取組強化

【取組内容】

- 「販売協力店」や「やまぐち食彩店」などの地産・地消推進拠点をはじめ、学校給食や食品産業との連携による県産農林水産物の取扱拡大
- 調理師団体などと協働した地域食材の活用促進

○公共・民間分野での県産木材の利用加速化と、優良県産木材を使用した「やまぐち木の家」の着工促進



県産品販売促進活動



学校給食における地産・地消



やまぐち木の家

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
販売協力店でのキャンペーン品目取扱量	(t/店)	124	140
地産・地消推進拠点の設置数(県内)	(店)	518	600
学校給食における地場産食材使用割合	(%)	58	60
学校給食における県産100%メニューの実施回数	(回/年)	0.4	9
優良県産木材「やまぐち木の家」	(戸/累計)	1,328	2,300

3 「やまぐちブランド」の育成

【取組内容】

○生産者や加工関係者などと協働した、味や品質に優れ全国に誇れる「やまぐちブランド」の育成

○大都市圏での新たな情報発信や取扱店の設置、「やまぐちフェア」の開催、ホテル・レストラン等に向けた食材提案等による「やまぐちブランド」の販路拡大



ゆめほっぺ



乾椎茸



のどぐろ

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
やまぐちブランド数	(商品)	58	100以上

4 大都市圏や海外への販路確保

【取組内容】

- 首都圏や関西圏の量販店、飲食店等における販路拡大
- 台湾をはじめとしたアジアにおける県産農林水産物の輸出促進
- 2015年ミラノ国際博覧会への出展を契機とした国際展開
- 関係機関・団体の連携による海外展開の推進



首都圏におけるPR活動



物産展(台湾)



ミラノ国際博覧会出展イメージ

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
やまぐちブランド取扱店の設置数 (県外)	(店)	19	70
輸出による売込商品数	(商品)	7	30

5 6次産業化・農商工連携の一体的な取組強化

【取組内容】

- 相談から新商品開発、販路開拓までの総合的な支援
- 「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」や融資の活用促進
- 県内外への出展・販路開拓への支援
- 未利用資源（竹、ジビエ等）の活用促進



開発商品の販売促進活動



開発商品



開発商品

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
6次産業化・農商工連携による新商品開発件数	(件)	—	50以上

Ⅱ 新たな人材や中核経営体の確保・育成

人口減少・少子高齢化が社会問題となっている中、農林水産業においても担い手が大きく減少し、全国に比較して大幅に高齢化が進んでいることから、次代を担う新規就業者の確保・育成が急務となっています。

このため、募集から技術研修、就業、定着まで一貫した「日本一の担い手支援策」を構築し、県内外からの確保と就業後の定着を進めます。

また、新規就業者の受け皿としても大きな役割を果たす集落営農法人などの法人経営体の育成と、貿易自由化などの動きも見据えた経営発展・体質強化に向けた取組を加速化します。

1 新規就業者の確保・定着

【取組内容】

〔就業後の確実な定着を促進する3本の柱による支援〕

- ①定着支援給付金など全国に誇る「給付金制度」
- ②住宅確保支援をはじめとする充実した「受入態勢」
- ③実践に直結する「技術指導体制」

〔農 業〕

- 集落営農法人等をプラットフォームとした新規就業者の確保・育成

〔林 業〕

- 森林組合等による新規就業者の確保・定着

〔漁 業〕

- 自立化支援の強化等による新規就業者の確保・定着



新規就業相談会



農業研修



林業研修



漁業研修

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
新規就業者数	(人/年)	169	235
農業	(人/年)	90	120
林業	(人/年)	33	50
漁業	(人/年)	46	65

2 法人経営体の育成

【取組内容】

〔農 業〕

○集落営農法人等の育成と農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約の加速化、経営の複合化・多角化の推進

〔林 業〕

○森林組合等林業認定事業体の施業集約化など経営の効率化支援や新規事業体の参入促進

〔漁 業〕

○漁業者の共同経営化や法人化の促進、主幹漁業の収益性向上に向けた取組支援



集落営農法人による麦収穫



林業認定事業体による森林作業



漁業者によるヒジキ養殖の共同経営

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
集落営農法人数	(法人)	205	320
農業の担い手の経営面積	(ha)	11,655	17,400
林業認定事業体数	(団体)	17	21
法人漁業経営体数 (共同経営体を含む)	(経営体)	75	100

3 農山漁村女性リーダー・女性企業の育成

【取組内容】

- 農山漁村女性の経営及び地域活動への参画促進
- 地域の次期女性リーダーの育成
- 「やまみちゃん」などの商品の開発・製造・販売に取り組む女性グループ等の法人化促進
- 女性企業の経営の発展や安定化に向けた取組支援



女性起業グループによる販促活動



シンボルマーク



法人化や経営発展に向けた研修会

【目 標】

目 標 項 目	H25	H29
農山漁村の女性リーダー数 (人)	180	現在の水準を維持
起業した女性グループ等の法人数 (法人)	10	30

Ⅲ 需要拡大に対応した生産体制の強化

農林漁業の就業人口が大きく減少している中、貿易自由化の動きなども見据えながら、県産農林水産物や加工品に対する需要の拡大に確実に対応するため、効率的で持続的な経営が可能な法人等の経営体を核とした生産体制を強化するとともに、生産を支える研究開発を進め、「安心・安全」を基本とした生産拡大を促進します。

1 集落営農法人等を核とした農業生産構造の改革

【取組内容】

- 集落営農法人を重点対象とした機械・施設整備等低コストで効率的な生産体制の構築
- 法人経営の複合化・多角化による経営体質の強化
- 新規就業者の受入れ等による生産体制の強化
- 酒造業者等と連携した酒米の生産拡大
- 中山間地域等条件不利地域でも栽培可能な薬用作物等新たな作目の導入



集落営農法人によるたまねぎ生産



薬用作物

2 林業の成長産業化に向けた取組強化

【取組内容】

- 森林整備加速化団地における県産木材の低コスト素材生産システムの構築や森林クラウドシステムなど新たな林業経営モデルの開発実証
- 間伐材や竹材など森林バイオマスの発電利用への拡大



高性能林業機械による素材生産



森林バイオマス



発電施設

3 海洋調査体制の強化による漁業生産の拡大

【取組内容】

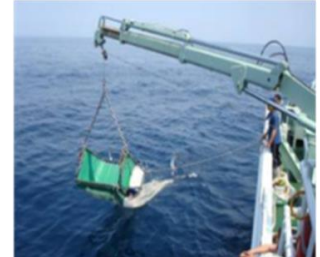
- 海水温上昇等に対応した漁場形成予測技術の開発による漁業操業の効率化推進
- 海洋調査体制の中核である調査船の機能強化（「くろしお」代船建造・機器整備）



漁業調査船「くろしお」



「くろしお」船内



海洋調査

【目 標】

目 標 項 目	H25	H29
漁場形成予測の情報提供魚種数 (種)	-	5

4 安心・安全な農水産物の供給

【取組内容】

- 付加価値の高い農産物の生産拡大に向けた、全国的な認証制度「JGAP」や本県独自制度「エコやまぐち農産物」と環境保全型農業直接支払制度との一体的な取組促進

- 畜産物生産に係る衛生管理体制認証制度の推進
- 水産物の鮮度保持のための神経締めや低温管理等の推進
- 水産物市場における高度衛生管理型荷捌き所の整備等の推進



JGAP認証農場の商品



神経締め



水産物市場(荷捌き所)

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
J G A P 認証件数	(件)	5	12
エコやまぐち農産物認証件数	(件)	340	530
農場認証登録制度の認証農場数(畜産)	(農場)	—	54
新たな手法による水産物鮮度保持実施地区数	(地区)	3	10
衛生管理型荷捌き所の整備	(施設)	2	3

5 全国に誇れるブランド品目の生産拡大

【取組内容】

- 「ゆめほっぺ」、オリジナルゆり「プチシリーズ」の需要に応じた生産拡大
- 平成 29 年全国和牛能力共進会での日本一獲得を目指した体制の強化など、「やまぐち和牛」のブランド力向上
- 全国から注目されている「長州黒かしわ」、「きじはた」等の安定供給体制の整備



オリジナルゆり



やまぐち和牛



長州黒かしわ



きじはた

【目 標】

目 標 項 目	H25	H29
ゆめほっぺ出荷量 (t/年)	102	500
ゆり (プチシリーズなど) 出荷本数 (万本/年)	13.5	100
やまぐち和牛出荷頭数 (頭/年)	380	500
長州黒かしわ出荷羽数 (羽/年)	24,000	80,000
きじはた生産量 (t/年)	13	20

6 需要のある品目の生産強化

【取組内容】

〔農 業〕

- 米・大豆・麦の契約取引の推進
- 酒造業者と連携した「酒米」等需要のある品目の生産拡大
- 生産者と需要者が一体となった飼料用米・飼料用イネ等、水田を活用した飼料作物の生産拡大や草地・飼料畑の造成、整備
- たまねぎやいちごなど園芸作物の安定供給に向けた計画出荷体制の構築



酒米：酒杜氏と生産者の交流会



飼料用イネ 収穫、ラッピング作業



販売協力店でのたまねぎ販売

〔林 業〕

- 需要に応じた計画的な木材生産のための安定取引協定の締結促進
- たけのこの水煮加工場を核とした産地形成による生産拡大



協定に基づく原木の集荷



安定取引に向けた研修会



たけのこ収穫

〔漁業〕

- 地先漁業における、あわびやあさりなどの資源増大、定置網や貝類・藻類養殖の振興などによる生産拡大
- 沿岸・沖合漁業における、とらふぐ、あまだいなどの種苗の生産・放流、漁獲制限などの資源管理の推進による生産拡大
- 内水面漁業における、冷水病に強い県産あゆの改良種苗の生産・放流などによる増殖対策の推進
- 取締りや指導の強化による漁業秩序の維持



あわび



あさり



とらふぐ



あゆ

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29	
農 産 物	米（結びつき米数量）	(t/年)	41,182	55,000
	酒米生産量	(t/年)	238	600
	大豆契約栽培取引数量	(t/年)	408	640
	はだか麦（県内実需向け供給量）	(t/年)	504	600
	飼料作物作付面積	(ha/年)	2,387	3,000
	飼料用米生産数量	(t/年)	983	4,300
	飼料用イネ作付面積	(ha/年)	179	250
	たまねぎ出荷量	(t/年)	3,061	4,600
	キャベツ出荷量	(t/年)	3,863	4,500
	じゃがいも出荷量	(t/年)	288	530
	にんじん出荷量	(t/年)	270	380
	いちご新規拡大面積	(ha)	-	7.0
	トマト新規拡大面積	(ha)	-	6.0
	交雑牛出荷頭数	(頭/年)	280	500
	林 産 物	県産木材生産量	(万m ³ /年)	22.5
たけのこ生産量		(t/年)	114	171

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
水産物	あわび生産量 (t/年)	55	64
	あさり生産量 (t/年)	23	100
	ひじき生産量 (乾燥) (t/年)	102	200
	あゆ改良人工種苗放流数 (千尾/年)	2,410	2,650

7 防疫体制の強化

【取組内容】

- イネいもち病をはじめとした農作物主要病害虫の適切な防除のための、発生予察に基づく迅速かつ的確な情報発信
- 高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫など特定家畜伝染病の発生予防及び発生時における迅速な防疫対策のための体制整備
- コイヘルペスウイルス病など特定疾病の発生予防及びまん延防止対策の徹底
- 貝毒・赤潮等の監視と被害拡大防止のための迅速な情報発信
- 風評被害防止のための正確かつ迅速な情報発信



イネいもち病



高病原性鳥インフルエンザ防疫対策



赤潮原因プランクトン

8 研究開発の強化

【取組内容】

- 薬用作物等新たな需要に対応した生産を技術面から支える研究開発の強化
- 民間企業や大学等と連携したオリジナルゆりなど新品種の開発や、やまぐちブランド等高品質生産を可能にする新技術の開発
- ICT（情報通信技術）等先端技術を活用した栽培改善等のための研究開発



薬用作物の栽培試験



新品種開発(オリジナルゆり)



新技術開発
(かいがらあまのり)

【目 標】

目 標 項 目	H25	H29
品種開発数 (件)	42	50
新技術開発数 (件)	29	36

IV 生産基盤の整備と資源の保全・有効活用

効率的に生産拡大を進めるために不可欠な農業、林業、漁業における生産基盤整備をはじめ、依然として深刻な鳥獣被害への対策強化、やまぐち森林づくり県民税の活用等による多面的機能の維持・発揮、森林バイオマス等再生可能エネルギーの活用など、農山漁村における資源の保全・循環や有効活用に取り組みます。

また、近年多発傾向にある大規模な自然災害に備え、防災・減災機能の強化による災害に強い農山漁村づくりを進めます。

さらに、農村地域の活性化については、国の日本型直接支払制度を活用しながら、集落営農法人等を中心とした営農の継続や集落機能の維持発展に向けた取組への総合的な支援を行います。

1 生産基盤の整備

【取組内容】

〔農 業〕

- 区画整理や排水対策による水田高機能化の推進
- 農業用ダムや排水機場等の農業用施設の長寿命化対策の推進



水田高機能化：
地下水位制御システムの施工



用水路の補修(長寿命化)

〔林 業〕

- 生産性の高い素材生産システム構築のための路網整備や高性能林業機械の導入支援



林内路網



高性能林業機械

〔漁業〕

- 藻場造成や漁場整備の推進
- 防波堤や岸壁等の漁港施設の長寿命化対策の推進



漁場整備



漁港施設

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
農 業	区画整理面積 (ha)	22,781	23,300
	水田高機能化面積 (ha)	1,143	2,300
	長寿命化施設数 (着手) (施設)	28	44
	中山間地域総合整備導入地区数 (着手) (地区)	40	44
林 業	搬出間伐の実施面積 (ha/年)	774	1,150
	林内路網の開設延長 (万m/年)	14.2	17
漁 業	藻場の造成面積 (ha)	20	41
	漁場の整備面積 (ha)	375.7	472.7
	長寿命化施設数 (着手) (漁港)	21	53

2 卸売市場の機能強化と水産業振興拠点の整備

【取組内容】

- 青果物や花きの卸売市場間連携の促進
- 下関漁港における高度衛生管理型荷捌き所の整備による機能強化及びこれと一体的な水産業振興拠点整備の推進



下関漁港の機能強化

水産業振興拠点の整備

3 森林バイオマス等再生可能エネルギーの活用

【取組内容】

- 搬出間伐や素材生産と一体化した、森林バイオマスの低コスト収集運搬システムの構築
- 森林バイオマスの発電利用への拡大、木質ペレット・ボイラー等での熱利用の推進
- 農業用ダム等土地改良施設への小水力発電の導入や生産施設等への太陽光発電の導入促進



森林バイオマスの発電施設



木質ペレット・ボイラー



小水力発電施設

【目 標】

目 標 項 目	H25	H29
森林バイオマス利用量 (t/年)	35,483	55,000
小水力発電の整備着手箇所数 (箇所)	2	10
再生可能エネルギーを活用する農業用施設 (箇所)	2	8

4 鳥獣被害防止対策の強化

【取組内容】

- 広域一斉捕獲の実施や侵入防止柵整備、地域ぐるみの被害防止活動等総合的な対策の推進
- 市町の鳥獣被害対策実施隊の設置促進など実効性の高い捕獲体制の整備
- 被害状況を踏まえた大量捕獲技術や効果の高い新技術の開発・実証・普及



野生鳥獣



箱わなによる捕獲



鳥獣被害防止対策研修会

【目 標】

目 標 項 目	H25	H29
鳥獣による農林業被害額 (億円/年)	5.4	3.0 以下

5 やまぐち森林づくり県民税の活用

【取組内容】

- 手入れが行き届かず荒廃し、森林機能の低下したスギ、ヒノキ人工林の整備の推進
- 繁茂、拡大した竹林の伐採及び再生竹の除去による自然林への回復誘導
- 集落周辺の里山を一体的に明るく見通しの良い森林へ誘導する取組支援
- 市町等が独自に取り組む多様な森林整備に対する支援



竹繁茂防止対策の効果



竹林整備

【目 標】

目 標 項 目	H25	H29
荒廃森林の整備面積 (ha/年)	311	400

6 多面的機能の維持・発揮

【取組内容】

- 中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度の積極的活用及びこれらと一体的に取り組む農業・農村活性化対策の推進
- 農道、水路、ため池等農用地・農業用施設の保全管理の推進
- 鳥獣被害防止対策の強化や山口型放牧の普及推進
- 森林の有する公益的機能を持続的に発揮するための間伐や再造林等の推進
- 藻場・干潟の保全及び漁場の生産力向上のための取組支援



農道の補修



山口型放牧



再造林



藻場の保全

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
農 業	中山間地域等直接支払制度（体制整備単価適用面積）（ha/年）	11,224	10,000以上
	多面的機能支払制度（農地維持支払取組面積）（ha/年）	18,351	25,000
	長寿命化施設数（着手）〔再掲〕（施設）	28	44
	山口型放牧面積（ha/年）	350	430
	鳥獣による農林業被害額〔再掲〕（億円/年）	5.4	3.0以下
林 業	搬出間伐の実施面積〔再掲〕（ha/年）	774	1,150
	再造林面積（ha/年）	155	250
	荒廃森林の整備面積〔再掲〕（ha/年）	311	400
漁 業	藻場の造成面積〔再掲〕（ha）	20	41
	漁場の整備面積〔再掲〕（ha）	375.7	472.7
	長寿命化施設数（着手）〔再掲〕（漁港）	21	53
	水産業・漁村の多面的機能維持・増大取組件数（件/年）	114	134

7 防災・減災機能の強化

【取組内容】

- ため池、頭首工、排水機場、治山ダム、漁港施設、海岸保全施設などの改修整備
- 用途廃止ため池の切開、切り下げ等による災害未然防止対策の推進
- 農業用施設・治山施設・漁港施設の長寿命化対策の推進
- 水源地域を守るための大規模伐採を規制する保安林指定
- ハザードマップ整備など津波・高潮対策や土砂災害対策の推進



ため池



治山ダム



海岸保全施設

【目 標】

目 標 項 目		H25	H29
災害に強い農地保全面積	(ha)	13,000	22,000
ため池の整備	(箇所)	1,509	1,650
頭首工の改修	(箇所)	59	73
排水機場の改修整備	(箇所)	35	45
長寿命化施設数（着手）（農業）〔再掲〕	(施設)	28	44
地すべり防止対策の実施	(地区)	33	39
治山ダム等の整備	(地区)	1,337	1,450
保安林指定面積	(ha)	99,700	104,000
海岸林の機能強化箇所数	(箇所)	4	10
海岸保全施設の整備延長（県管理）	(km)	34.2	35.2
長寿命化施設数（着手）（漁業）〔再掲〕	(漁港)	21	53
高潮ハザードマップの整備	(市町)	6	18
津波ハザードマップの整備	(市町)	—	18

用 語 解 説

《ア行》

あ い し い て い じょうほうつうしんぎじゅつ ICT（情報通信技術）（P16）

「Information & Communications Technology」の略。コンピュータや情報通信ネットワークなど情報通信技術のこと。

あかしお 赤潮（P16）

海水中のプランクトンが異常に増殖して、海水の色が変わる現象のこと。
有害なプランクトンが増殖することによって、魚介類が大量に斃死する場合があります。

かいりょうじんこうしゅびょう あゆ改良人工種苗（P(15,)16）

冷水病に耐性を持ち、河川への定着性が強い性質を持つあゆのこと。県内の特定の河川において遡上した天然あゆから採卵・育成したもので、これらの性質を持つ人工種苗を放流することで生産を拡大している。

びょう イネいもち病（P16）

水稻に発生する代表的な病害で、カビの一種。曇雨天が続くと発生しやすく、発生量が多くなると水稻の葉や穂が枯れて減収となる。

えいせいかんりがたにさばきしよ 衛生管理型荷捌き所（P13）

漁港で水揚げした魚介類の選別・箱詰・施氷・出荷等を行う施設を荷捌き所と称し、食中毒菌や異物等の混入防止のため国が示す衛生管理基準を満たす各種対策がとられた荷捌き所のこと

えいせいかんりたいせいにんしょうせいど 衛生管理体制認証制度（P13）

「やまぐち高度衛生管理農場推進協議会」が定めた「衛生管理基準」を満たす畜産農場の取組を認証する山口県独自の制度のこと

のうさんぶつ エコやまぐち農産物（P12、13）

化学農薬・化学肥料を不使用又は県基準より50%以上削減して生産した農産物を認証する山口県の制度で、国の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」との整合を図ったもの

【認証区分】〔不使用：エコ100〕〔50%以上削減：エコ50〕



エコやまぐちマーク

農林水産省新ガイドラインによる表示	
特別栽培農産物	
削減対象農薬：	山口県地域比5削減
化学肥料(窒素成分)：	山口県地域比5削減
栽培責任者：	〇〇〇〇
住 所：	山口県〇〇市〇〇町△△
連絡先：	TEL083-000-0000
確認責任者：	△△△△
住 所：	山口県〇〇市〇〇町△△
連絡先：	TEL083-000-0000
精米確認者：	□□米穀株式会社
住 所：	山口県〇〇市〇〇町△△
連絡先：	TEL083-000-0000
削減対象農薬の使用状況	
http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp	

ガイドライン表示

えんがん おきあいぎょぎょう
沿岸・沖合漁業 (P15)

沿岸漁業とは、岸から比較的近く日帰りできる程度の海域で営まれる底びき網・さし網・一本釣漁業等で、主に10トン未満漁船を使用するものをいう。

沖合漁業とは、一回の操業に数日間を要する沖合海域で営まれる沖合底びき網・まき網・はえなわ漁業等をいう。主に大型の漁船で乗組員を雇用して営まれる。

おろしうりしじょうかんれんけい
卸売市場間連携 (P19)

卸売市場間において商品の融通や情報共有等の連携を進めることにより、県産農産物の安定供給につなげるとともに、卸売市場の機能強化を図る取組のこと。

《力行》

かいがらあまのり (P17)

環境省レッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に分類される希少な藻類で、甘味・旨味成分のアミノ酸が通常ののりに比べ2～3倍含まれているため、非常に美味。県では全国で唯一養殖技術を確立し、生産拡大を図っている。

かいがんほぜんしせつ
海岸保全施設 (P23)

高潮や津波、波浪による災害や海岸侵食を防止するため、海岸線に設置する施設のこと。堤防、護岸、離岸堤、消波ブロック、水門などがある。

かいがんりん
海岸林 (P23)

海岸に沿って成立している林を総称して海岸林という。海岸部の農地、宅地、道路などを飛砂や潮風等から守るため、飛砂防備保安林や潮害防備保安林等に指定、保護している海岸林が多数ある。



かいどく
貝毒 (P16)

かき・あさりなどの二枚貝が、毒をもったプランクトンを餌として食べることで体内に毒を蓄積させる現象のこと。その貝を食べることにより食中毒になることがある。ただし、毒をもったプランクトンがいなくなれば、毒素は自然に貝から排出され、再び食べられるようになる。

かんきょうほぜんがたのうぎょうちよくせつしはらいせいど

環境保全型農業直接支払制度（P12）

化学肥料・化学農薬の5割低減と合わせて行う地球温暖化防止、生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する制度。対象となる営農活動は、緑肥作物の栽培、堆肥の散布、有機農業などがある。

かんばつ

間伐（P22）

健全な森林を育成するため、成長の過程で過密となった森林の立木の一部を伐採することにより、立木の密度を調整して、立木の成長や下層植生の繁茂を促す作業。間伐には、手入れのために行う切り捨て間伐と、手入れと収穫を兼ねた搬出間伐がある。

きじはた（P13,14）

主に沿岸域で操業する漁業で漁獲される高級魚の名前。定着性が強く市場価格は高いが、漁獲量が少ないことから、きじはた資源を積極的に造成するため、平成24年度から10万尾の種苗放流を行うとともに、平成25年度から全長30cm未満の採捕を禁止している。



ぎょじょうけいせいよそくぎじゅつ

漁場形成予測技術（P12）

本県の重要魚種である「まあじ」や「いわし類」、「けんさきいか」などの漁場ができる海域や時期などを予測し、その情報を漁業者に提供する技術のこと。近年、海水温の上昇等の影響により、これらの魚種の漁場形成が不安定になっていることから、漁業者の効率的操業や経営安定のために有益な技術である。

くかくせいり

区画整理（P18,19）

不整形な農地を営農し易い形状に整形する事業で、いわゆる「ほ場整備事業」のこと

区画整理（前）



区画整理（後）



コイヘルペスウイルス^{びょう}病（P16）

「まごい」及び「にしきごい」のみにかかる死亡率の高い疾病。

発生が確認された場合は、こいの処分など、速やかなまん延防止対策を講じる必要がある。なお、仮に病気に感染しているこいを食べたとしても人体に影響は全くない。

広域一斉捕獲^{こういきいつせいほかく}（P20）

複数の市町が連携して、シカなど広域的に生息する野生鳥獣を捕獲すること。市町境にとらわれず、地形や生息状況に応じた捕獲範囲の設定が可能となり、大規模な捕獲活動を行うことができる。

交雑牛^{こうざつぎゅう}（P15）

乳用牛の雌に、黒毛和種などの和牛の雄を交配して生産される肉用牛

高性能林業機械^{こうせいのうりんぎょうきかい}（P12、18）

立木の伐採、枝払い、丸太の採材など複数の作業を一台の機械で効率的に処理できる建設用重機等をベースとした林業用機械。伐採や丸太の採材を行うハーベスタ、集材を行うスイングヤードなどがある。



ハーベスタによる丸太の採材作業



スイングヤードによる集材作業

口蹄疫^{こうていえき}（P16）

口蹄疫ウイルスが原因で、偶蹄類の家畜（牛、豚、山羊、綿羊、水牛など）や野生動物（ラクダやシカなど）がかかる病気。

発熱したり、口の中や蹄の付け根などに水ぶくれができたりするなどの症状がみられる。

偶蹄類動物に対するウイルスの伝播力が非常に強いので、他の偶蹄類動物にうつさないようにするための措置が必要。

高度衛生管理型荷捌き所^{こうどせいせいかんりがたにさばきしょ}（P13、19）

漁港で水揚げした魚介類の選別・箱詰・施氷・出荷等を行う施設である荷捌き所のうち、食中毒菌や異物等の混入防止のため国が示す高度な衛生管理基準を満たす各種対策がとられた荷捌き所のこと

こうびょうげんせいとり

高病原性鳥インフルエンザ（P16）

全身症状を伴う家きん（鶏、あひる、七面鳥等）の急性伝染病。

家きんのA型インフルエンザウイルス感染症のうち、病原性が強いもの。

家きんに対するウイルスの伝播力が非常に強いので、他の家きんにうつさないようにするための措置が必要。

《サ行》

さいがい つよ のうちほぜんめんせき

災害に強い農地保全面積（P23）

農山漁村地域の安心・安全力の確保を図るため、各種防災事業等のハード、または、ソフトでの対策により防災機能が向上した農地面積

さいせいかのう

再生可能エネルギー（P4、18、20）

太陽光や太陽熱、風力、水力、バイオマスなど、一度利用しても比較的短期間に再生が可能で、資源が枯渇しないエネルギーのこと。発電時や利用時に二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギー。略称は「再エネ」

さいぞうりん

再造林（P22）

スギやヒノキなどの人工林を伐採し、その跡地に再び植栽を行うこと。伐採後の再造林を確実に実施するにより、林業の持続的な経営（森林資源の循環利用）と森林の有する多面的機能の回復を図ることができる。

さかまい

酒米（P11、14、15）

日本酒を醸造する原料、主に麴米(こうじまい)として使われる米のこと。正式には酒造好適米と呼ばれ、特有の品質が求められるため、通常の食用米とは区別される。山口県では、「山田錦」、「西都の雫」などが栽培され、県内の酒造メーカーで醸造されている。

じえいぎやっぶ

JGAP（P12、13）

「工程管理に基づく品質保証」の考え方を生産現場に導入し、食品事故等を未然に防ぐための生産工程管理の手法のこと。第三者機関の審査により、JGAPが正しく導入されていることが確認された農場は、JGAP認証が与えられる。



登録番号 123456789

JGAP 認証農場マーク



登録番号 123456

JGAP 農産物使用マーク

じ 地すべり（P23）

特定の地質や地質構造を有する斜面の一部が、地下水位の上昇などの要因で非常にゆっくり動く（すべる）現象

ジビエ（P7）

シカ、イノシシなど狩猟の対象となり食用とする野生鳥獣又はその肉のこと

しゅうらくえいのうほうじん

集落営農法人（P4、8、9、11、18）

1～数集落を単位に、関係農家の農地利用の合意形成のもと、集落内農地の相当面積を集積し、集落内の相当数の農家が参加して効率的な営農を実践する法人のこと

しょうすいりょくはつでん

小水力発電（P20）

水が落下するエネルギーを用いて発電する、出力1,000kW以下の比較的小規模な発電設備の総称



しりょうさくもつ

飼料作物（P14、15）

主に牛などの家畜の飼料とするために栽培される牧草やイネなどの作物

しりょうよう

飼料用イネ（P14、15）

牛の飼料として、葉、茎、子実のすべてを利用されるイネ

しりょうようまい

飼料用米（P14、15）

家畜（牛、豚、鶏等）の穀物飼料の一つとして利用される米

しんけいじ

神経締め（P13）

鮮度保持方法の一つ。魚類の頭部・鼻腔部から細い金属線を挿入し、神経（脊椎神経系）を物理的に破壊することにより、死後硬直までの時間を遅延させ、鮮度低下を遅らせるもの



じんこうりん

人工林（P21）

人が苗木を植えて育てた森林のこと

しんりん

森林クラウドシステム（P11）

森林資源情報や木材需給情報等のデータをインターネット上のサーバで管理し、行政機関、林業事業者、民間会社等のユーザーは、パソコンや携帯端末からデータを閲覧、編集、アップロードすることが可能となるシステムのこと

しんりんせいびかそくかだんち
森林整備加速化団地（P11）

施業集約化により、路網整備や高性能林業機械を活用した低コスト搬出間伐など、計画的な木材生産の取組を集中的に実践する、概ね 30ha 以上のスギ・ヒノキ人工林の区域

しんりん
森林バイオマス（P4、11、12、18、20）

森林から得られる植物由来の生物資源のこと

すいでんこうきのうか
水田高機能化（P18）

従来の暗渠排水に比べて高い機能を持った浅層暗渠や地下水位制御システムによる排水対策により、水田への畑作物の導入を可能にすること

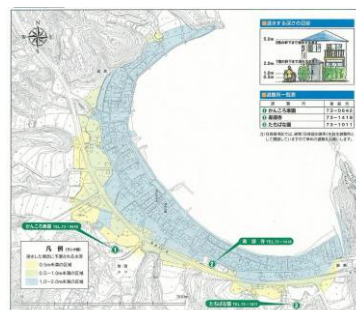
ぜんこくわぎゅうのうりよくきょうしんかい
全国和牛能力共進会（P13）

5年に1回開催される「和牛のオリンピック」と呼ばれる大会のこと。全国各地の産地から出品された和牛が肉質等の能力を競う。次回大会は、平成29年9月に宮城県で開催。

《夕行》

たかしお つなみ
高潮ハザードマップ、津波ハザードマップ（P23）

台風による高潮・高波災害時と地震による津波災害時において、住民が迅速かつ安全に避難し、人的被害を最小限度に食い止めることを目的として、予想される浸水の程度や避難情報等の各種情報を分かりやすく表示した地図。



いけ
ため池（P22、23）

土で造られた堤（土堤）により農業用水を貯水する施設



ためんてききのう
多面的機能（P4、22）

農林水産業や農山漁村が果たす様々な機能。農林水産物等の供給機能だけでなく、国土や環境の保全、自然とのふれあいを通じた教育の場の提供、地域色豊かな伝統文化の継承などの機能がある。

ためんてききのうしはらいせいど

多面的機能支払制度（P22）

地域が共同で行う、水路・農道等の泥上げや草刈り、補修などにより、地域の多面的機能を支える活動や、地域資源の質的向上を図る活動を支援する制度

ちさきぎょぎょう

地先漁業（P15）

ごく沿岸域で操業する建網漁業やかご漁業、採介藻漁業や貝類・藻類養殖業、定置網漁業等をいう。漁場が近いことため燃油使用量が少ないなど、経済的に操業できるというメリットがある。

ちさん

治山ダム（P23）

山地の河川溪床の縦・横浸食を防止し、溪床の安定、山脚の固定及び土砂流出の抑止・調整を図ることを目的に、コンクリート等を使用して設置する構造物のこと



ちさん ちしょう

地産・地消（P4、5、6）

地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費する取組のこと。

ちゅうさんかんちいきそうごうせいび

中山間地域総合整備（P19）

中山間地域において、農業・農村の活性化を図ることを目的として、農業生産基盤や生活環境基盤などの整備を総合的に行う事業

ちゅうさんかんちいきとうちよくせつしはらいせいど たいせいせいびたんかてきょうめんせき

中山間地域等直接支払制度（体制整備単価適用面積）（P22）

農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等において、協定に基づき、5年以上継続して農業生産活動等を行う農業者等を支援する制度。体制整備単価適用面積とは、農地の適正な保全活動等に加え、担い手の育成や機械・農作業の共同化等の前向きな取組を実施した場合の交付金単価が適用される農地面積

ちようしゅうくろ

長州黒かしわ（P13、14）

国の天然記念物「黒柏鶏（くろかしわ）」をベースに山口県が開発した県産オリジナル地鶏のこと。地鶏（じどり）ならではの適度な歯ごたえを残しながらも柔らかくジューシーで、噛めば噛むほど味が出てくる肉質を持ち、旨味成分が豊富で上品な味が特徴



ちょうじゅうひがいたいさくじっしたい
鳥 獣 被害対策実施隊 (P20)

「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」(鳥獣被害防止特措法)に基づき、市町は、被害防止計画に基づく捕獲、防護柵の設置といった鳥獣被害対策の実践的な活動を担う「鳥獣被害対策実施隊」を設置することができる。

ちょうじゅみょうか
長 寿 命 化 (P18、19、22、23)

施設が保有している機能の低下を極力抑え、適切な利用の継続を図ることを目的に、施設の老朽化が進む前に調査を行い計画的な管理や補修工事を実施すること

てい しゅうしゅううんぱん
低コスト 収 集 運 搬 シ ス テ ム (P20)

森林バイオマスの生産コストの低減化を図るため、素材生産と一体となって未利用間伐材や残さを収集運搬すること

てい そざいせいさん
低コスト 素 材 生 産 シ ス テ ム (P11)

森林内において、作業道の開設や高性能林業機械等の活用により生産性の向上と低コスト化を図った、立木から素材(丸太)を生産、搬出するまでの一連の作業の組み合わせと流れのこと

とうしゅこう
頭 首 工 (P23)

農業用水を取水するため、河川に造られた堰や取り入れ口及び付帯施設などの施設の総称



とくていかちくでんせんびょう
特 定 家 畜 伝 染 病 (P16)

家畜伝染病のうち、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなど、特に総合的に発生の予防及びまん延防止のための措置を講ずる必要があるもの。

検査、消毒、家畜等の移動制限など、当該家畜伝染病に応じて必要となる措置を総合的に実施するための指針が国により作成されている。

ト ッ プ セ ー ル ス (P5)

組織の代表による宣伝販売活動のこと

《ナ行》

ないすいめんぎょぎょう

内水面漁業（P15）

河川、湖沼などの淡水や汽水域で営まれる漁業。本県では主に、あゆ、うなぎ、わかさぎ、もくずがに、しじみ等が漁獲されている。

にほんがたちよくせつしはらいせいで

日本型直接支払制度（P18）

農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るための地域活動、農業生産活動の継続、自然環境の保全に資する農業生産活動に対する国の支援。多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払の3つの支援策からなる。

のうぎょうよう

農業用ダム（P18、20）

農業用水の安定供給等を図るためのダムのこと

のうさんぎょそんじょせいぎぎょう

農山漁村女性企業（P4、10）

「やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク」加入者で、地域における持続可能な中核経営体として活動し、年間売上額がおおむね1,000万円以上となる法人経営体のこと

のうしょうこうれんけい

農商工連携（P4、5、7）

中小企業者と農林漁業者の経営の向上・改善を図るため、両者が持っている設備・技術・知識などの経営資源を互いに持ち寄り、新商品や新サービスの開発、生産などを行い、需要の開拓を行う取組のこと

のうじょうにんしょうとうろくせいで にんしょうのうじょう

農場認証登録制度の認証農場（P13）

県が定める衛生管理基準(県ガイドライン)を満たした畜産農場

のうちちゅうかんかんりきこう

農地中間管理機構（P9）

担い手への農地集積と集約化を推進するため、農地の出し手と受け手の間に介在し、農地の中間的受け皿として県段階に設置する組織。農地の借受け・貸付けを行うとともに、必要に応じて当該農地の保全管理、基盤整備等を実施

のどぐろ（P6）

喉の奥が黒いことから、「のどぐろ」と呼ばれ、標準和名は「あかむつ」という。上質な脂がのっていることから白身のトロと呼ばれ、萩市見島西方沖の漁場において沖合底びき網漁業や小型機船底びき網漁業で漁獲され、主に下関漁港に水揚げされる。

《ハ行》

はいすいきじょう 排水機場（P18、23）

高潮時などに、河川や水路への逆流を防止するための水門と、大雨によって増水した河川や水路の水を海などへ強制的に汲み出すためのポンプ場等の施設の総称



ハザードマップ（P23）

災害時に、住民が迅速かつ安全に避難し、人的被害を最小限度に食い止めることを目的として、予想される被害の程度や避難情報等の各種情報を分かりやすく表示した地図のこと。津波、高潮などのハザードマップがある。

むぎ はだか麦（P15）

大麦の一種で、実と皮が剥がれやすい品種群をいう（皮が剥がれにくいものは「皮麦」という）。山口県では、「トヨノカゼ」という品種を栽培しており（H24年産：約400tで麦全体の2割程度）、主に味噌の加工原料になっている。

はっせいよさつ 発生予察（P16）

山口県病害虫防除所が、農作物に被害を与える重要な病害虫の発生状況や気象、作物の生育状況等を調査し、その結果をもとに発生量などを予測して、農業者等に技術対策とともに情報提供する業務。

はんしゅつかんぼつ 搬出間伐（P19、20、22）

採算性を見込める林地で間伐を行い、間伐材を搬出するもの。搬出方法としては、架線による集材と、高密度に森林作業道を開設して集材する方法がある。

はんばいきょうりょくてん 販売協力店（P5、6）

年間を通じて、県産農水産物等を販売する「やまぐちコーナー」を設置し、積極的に取り組む量販店等

ひがた 干潟（P22）

干潮時に干上がる砂泥質の浅場をいう。多くの水生生物の産卵・成育の場として機能するほか、海水の浄化に重要な役割を果たしている。

ぶちうま^{うりこみだい}売込隊（P4,5）

やまぐちブランド商品や6次産業化商品を効果的に売り込むため、県や生産者団体などで構成した組織。首都圏や関西圏への戦略的な情報発信や国内外でのフェアなどを実施する。

プチシリーズ（オリジナルゆり）（P13,14）

県が育成した小型のゆりの品種の総称。花の直径が10～12cm程度と小さく、微香性。花の色が違う品種を組み合わせアレンジメントやミニブーケを作るなど、多用途に利用できる。



プラットフォーム（P8）

新規就業者が地域に定着していく際の拠点や受け皿となり得る農業経営体のこと

保安林^{ほあんりん}（P23）

水源のかん養、災害の防備、生活環境の保全・形成などの公益的機能を高度に発揮させるため、森林法に基づき指定された森林（全部で17種類）。保安林に指定されると、こうした機能が失われないように、立木の伐採や開発行為などが制限される。一方で所有者等には免税等の優遇措置が講じられている。

《マ行》

ミラノ^{こくさいはくらんかい}国際博覧会（P7）

イタリアのミラノで「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに、2015年5月1日～10月31日の期間に開催される国際博覧会のこと。日本は「共存する多様性」をテーマに「日本館」を出展。山口県も5月24日～27日の4日間、「世界に届けます 山口の食・文化・匠の技」をテーマに、日本館イベント広場に出展

結びつき^{むす}米^{まい}（P15）

売れる米づくりに向けた、播種前契約、収穫前契約等にもとづいて生産される契約栽培米

もくしつ 木質ペレット・ボイラー（P20）

木質ペレット（木材等を粉砕、高圧で圧縮し、円筒状にしたもの）を燃料とするボイラーのこと。冷暖房や給湯、温泉加温、農業用ハウス暖房等に利用



もば 藻場（P19、22）

沿岸域で海草・海藻が茂る場所をいう。多くの水生生物の産卵・成育の場として機能するほか、栄養塩類や二酸化炭素を吸収し、酸素を供給するなど重要な役割を果たしている。



《ヤ行》

薬用作物（11、16、17）

植物体またはその抽出成分を医薬として用いる薬用植物を農作物として栽培するもの

やまぐちがたほうぼく 山口型放牧（P22）

転作田や耕作放棄地などに電気牧柵等を設置して牛を放牧すること。遊休地の解消による農地保全や肉用牛経営の省力化などを通じて、地域の活性化を目指している。



き いえ やまぐち木の家（P6）

木材の強度など品質の優れた優良県産木材を基準以上利用した木造住宅



しよくさいてん やまぐち食彩店（P5）

県産農水産物等を食材として、積極的に利用する飲食店、ホテル、旅館等



やまぐち^{しんりん}森林^{けんみんぜい}づくり県民税（P4、18、21）

県土保全や水源かん養など多面的な機能を有する森林を県民共通の財産として次世代に引き継ぐため、荒廃した人工林の再生や繁茂竹林の整備、ボランティア活動に対する支援などを目的に、平成 17 年度に導入した本県独自の税制度

やまぐちブランド（P4、5、6、7、16）

県内で生産される農林水産物及び主な原材料が県産 100%の加工品を対象に、味や品質を重視した独自の基準を設け厳選した商品のブランドのこと。

やまぐち夢づくり産業支援ファンド（P7）

技術力のある中小企業や農商工連携等に取り組む企業を資金面から支援するため、やまぐち産業振興財団と金融機関が共同出資により創設した投資ファンドのこと

やまぐち^{わぎゅう}和牛（P13、14）

県が育成した種雄牛を父親に持つ、県内で生まれ、育てられた黒毛和牛のこと。また、そのブランド

やまみちゃん（P10）

「やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク」が管理運営する「やまぐち農山漁村女性起業統一ブランド」の愛称。農山漁村女性が暮らしの中で培った知恵や技、地域の農林水産物を活用した商品であることの証である。



ゆめほっぺ（P6、13、14）

全農山口県本部の登録商標。県が育成し、平成 16 年に品種登録した柑きつ「せとみ」を出荷段階で選別し、糖度 13.5 度以上、酸度 1.35%以下で外観品質の優れたものを「ゆめほっぺ」として販売



《ラ行》

りんぎょうにんていじぎょうたい 林業認定事業体（P9）

「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき、雇用管理の改善及び事業の合理化を一体的に図るための「改善計画」を作成し、知事の認定を受けた事業体のこと

れいすいびょう

冷水病（P15）

養殖あゆや河川の天然あゆに発生する細菌感染症。平成8年以降、全国の河川で発生が相次いでいる。

ろくじさんぎょうか

6次産業化（P4、5、7）

農林漁業者が、1次産業としての生産に加え、2次産業としての製造業、3次産業としてのサービスや販売業を総合的に展開することで新たな付加価値を生み出し、所得の向上や地域雇用の創出により、農山漁村地域の活性化を目指す取組のこと

ろもう

路網（P18、19）

造林・保育・木材生産等の施業を効率的に行うための道のこと。一般車両の走行を想定した「林道」、普通自動車(10トン積程度のトラック)や林業用車両の走行を想定した「林業専用道」、フォワーダ等の林業機械の走行を想定した「森林作業道」からなる。

